

第2回 保育実習に係る保育士養成校と保育所等との意見交換会 概要

開催日時：令和6年2月9日（金）

開催場所：藤沢合同庁舎5階大会議室

参加者：保育士養成校 11名、

保育実習受入施設（対象地域：県央地域、湘南地域、県西地域） 39名

テーマ：①実習生への関わりについて ②実習記録について

意見交換会内容紹介

テーマ1：実習生への関わりについて

<グループA>

- ・オリエンテーションを丁寧に行っている園が多い。養成校と密に連絡をとってより良い関係を構築する。
- ・諦めてしまう学生は、乳児とコミュニケーションがとれず諦めてしまうことが多いことを知った。乳幼児クラスの良さもわかるよう伝えていきたい。

<グループB>

- ・オリエンテーションが大切。緊張をどれだけ解くか。みんなであいさつ、ウェルカムな雰囲気づくり、学校のテーマに沿って学生の希望に合わせて進める。
- ・アットホームな気持ちになれるよう、休憩中に話かけるといふ園と、あえて話しかけない、という接し方をしている園と意見が分かれた。

<グループC>

- ・具体的に話を聞いてあげる。安心感を与える。
- ・活動について具体的なポイントを定めた質問をすると学生はちゃんと答えてくれるので、聞き方が大事。
- ・失敗は自分の課題を見つけることにつながるから大事だと伝える。

<グループD>

- ・園側の受け入れ方を変えていかないといけない。マイナスなイメージが付きそうな場面を減らす、という努力が必要である。
- ・園側がポジティブな姿勢を見せて、学生に保育士になりたいという気持ちをもってもらうことが必要ではないか。

<グループE>

- ・実習内容について、子どもの心がどう動いたか、子どもにとってどういう経験になったのか、そういった振り返りをできるようにすることが大事ではないか。
- ・振り返りの仕方は、雑談のように語り合えたらいいのでは。理想の保育士の姿を見せる機会にもなる。

テーマ2：実習記録について

<グループF>

- ・実習記録が間に合わない学生がおり、どこまで実習生にまかせたらいいか、わからない。
- ・期日に間に合わないのに、困っていることを伝えられない実習生がいる。
- ・評価をどこまで正直に書いていいのか迷っていたが、学校側としては正直に書いてほしい、とのことだったので、園に持ち帰って今後につなげていきたい。

<グループG>

- ・受け入れる園側の取り組みとして、日誌の代わりに振り返りシートを使っている園もある。職員と一緒に子どもの心の動きなどを記録することで、学生に多くの気付きがあることがわかる。エピソード記録が書きやすい、という意見もあった。

<グループH>

- ・実習日誌にかかる時間が問題。働き方改革が叫ばれている中、実習だけが持ち帰りの仕事をしているのはおかしい、という意見が出た。施設、学校双方で工夫する必要がある。

感想

- ・県内の様々な園の意見を伺えてとても参考になりました。やはり、園によって考え、理念、方針が異なり、それは養成校も同様で、もっと話し合いの機会があればと思いました。とても貴重な時間でした。
- ・養成校によって実習指導や実習園へ要望することが異なったり、共通することも多いことがわかりました。保育を志望する学生の減少が懸念されますが、保育の素晴らしさ、楽しさ、専門性の高さをこれからも学生に伝えていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・新設園のため、実習生の受入れの実績がないが、今後受入れることになった際、参考になるお話が多く、学びが多かった。養成校と受け入れる園との連携を密にし、実りのある実習とするために、どうしていったらいいのかという点で課題は多いのだということがよくわかった。(日誌・記録・評価) 保育士という職業が魅力的なものと感じてもらえるよう、受け入れることがあった際は、熱意をもって対応したいと思った。参考資料があったことで話し始める(グループワーク)ことがスムーズだった。
- ・このような機会が定期的にあるとよいです。他園の話や学校からの話もあり、新たな気づきが多くあり、充実した時間となりました。学生の特徴もとらえながら、園側も保育士を育てられるよう工夫していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・初めて他園の実習生についての意見や思いを聞くことができ、皆思っていること感じていることは同じなんだと思い、とても良い時間になった。また、様々な意見交換や情報共有できる時間ができれば嬉しい。

